

参考（前回入選歌、作者名）

風に泳ぐ鯉も鯉も四万十の山に映えおり太き腹
見せ

西原 時子

ゆく雲の吹きはらはれてまつさらな太古の空と
おもふみづいろ

木村 桂子

藤原龍一郎（代表作3首）

ああ夕陽 あしたのジョーの明日さえすでは
るけき昨日とならば

プラタナス濡らして夜の雨が降る濡れたきもの
は濡らしてやれよ

世界終末時計はすすむ酷暑の五輪寒雨の学徒出
陣



第十五回四万十市文化祭参加行事

第二十八回

四万十川

短歌全国大会

四万十川の青き流れを忘れぬや

上林 暁

【主催】幡多信用金庫

【後援】四万十市教育委員会
四万十市観光協会
四万十ロータリークラブ
土佐くろしお鉄道
四国しんきんカード
RKC高知放送
KSSさんさんテレビ
朝日新聞高知総局

中村商工会議所
中村ロータリークラブ
四万十ライオンズクラブ
国際ソロプチミスト幡多
中村短歌会
高知新聞社
KUTVテレビ高知

地元とともに



公的年金のお受取りは、当金庫に振込指定いただきますようお願いいたします。
また、年金定期預金など、各種の金融商品等についても、ご利用くださいますようご案内いたします。

【選者・講師】



藤原 龍一郎 先生

(ふじわら りゅういちろう)

○ 略歴

昭和27年1月18日福岡生まれ。
19歳の頃に中井英夫『黒衣の短歌史』を読み、作歌を始める。
学生時代、早稲田短歌会、早稲田ミステリクラブに在籍。
早稲田ミステリクラブで故仙波龍英と知り合う。
昭和47年「短歌人」入会。現在、編集人
平成2年短歌人賞受賞。
平成2年短歌研究新人賞受賞。
日本歌人クラブ中央幹事。

○ 歌集

『東京哀傷歌』『ジャダ』他

【選者】



沖 ななも 先生

(おき)

○ さいたま市在住

○ 略歴

「個性」入会。「個性」終刊後、「熾」創刊、代表となる。
現代歌人協会常任理事

○ 歌集

『衣裳哲学』(第27回現代歌人協会賞)
『機知の足首』『ふたりごころ』
『天の穴』『一粒』『三つ栗』『森岡貞香の歌』『樹木巡礼』
『優雅に楽しむ短歌』『白湯』『日和』

— 宿泊施設のご紹介 —

宿泊施設として、次のホテルをご紹介しますので、ご希望の方は、直接お申込みください。

○ 新ロイヤルホテル四万十

高知県四万十市中村小姓町26

・TEL0880(35)1000

・宿泊料金(税・サービス料込み、食事別)

☆シングル:7,800円より ☆ツイン:15,600円より

【開催趣旨】

日本に残された最後の清流、四万十川の青き流れを日本のすべての河川のシンボルとして、いつまでも後世に伝えてゆきたいと思います。
このような思いから、四万十川短歌全国大会を開催することにいたしました。
ふるってご参加のほどお願い申し上げます。

【募集要項】

- 投稿
・題詠一首:川(河)に関係した歌、ただし、詠の中に川(河)の字がなくても可
・自由詠一首:川(河)に関係した歌でも可
・合わせて二首一組千円。何組でも投稿可能。ただし、未発表作品に限ります。
- 投稿用紙
・募集要項付の投稿用紙をご希望の方は、下記まではがき、又は電話でご請求ください。また、当金庫のホームページから、投稿用紙の印刷が可能です。
なお、原稿用紙で投稿されても結構です。
※氏名、住所、電話番号と大会への出欠を必ず記入してください。
- 応募締切 9月27日(金)当日消印有効
※最寄りの幡多信用金庫の本店、各支店でも投稿を受付けます。
- 投稿及び問い合わせ先
〒787-0021
高知県四万十市中村京町1丁目17番地
幡多信用金庫 短歌係
TEL0880(34)2121

※応募後の作品変更は、お受けできません。

応募作品の著作権は、主催者の幡多信用金庫に帰属します。

【入賞者の発表】

- ・入賞者には、はがきで通知します。
- ・大会当日会場にて、入選作品集を配付します。
- ・当日会場に来られない投稿者に、後日、入選作品集を送付します。

【大会】

- 日程 令和元年11月16日(土)午後1時~4時
- 会場 幡多信用金庫 本店会議室
- 次第
・開会挨拶 幡多信用金庫理事長
・講師の講演及び選評(入選歌及び大会当日参加者の投稿歌を講評)
・表彰式
※午後4時から会場を移して、選者と希望者による懇親会(会費:5,000円)
- 表彰 大会賞、四万十市長賞ほか
秀作
佳作
- 賞品 賞状及び記念品

— 四万十川観光のご案内 —

大会当日の午前中に、四万十川観光を行います。
午前9時に新ロイヤルホテルを出発し、四万十川を屋形船で遊覧して、午前11時前に大会会場に到着する予定としております。
ご希望の方は、投稿と同時に申込みください。

○観光料金:1,500円(一人、税込)(募集最低人数5名様から)